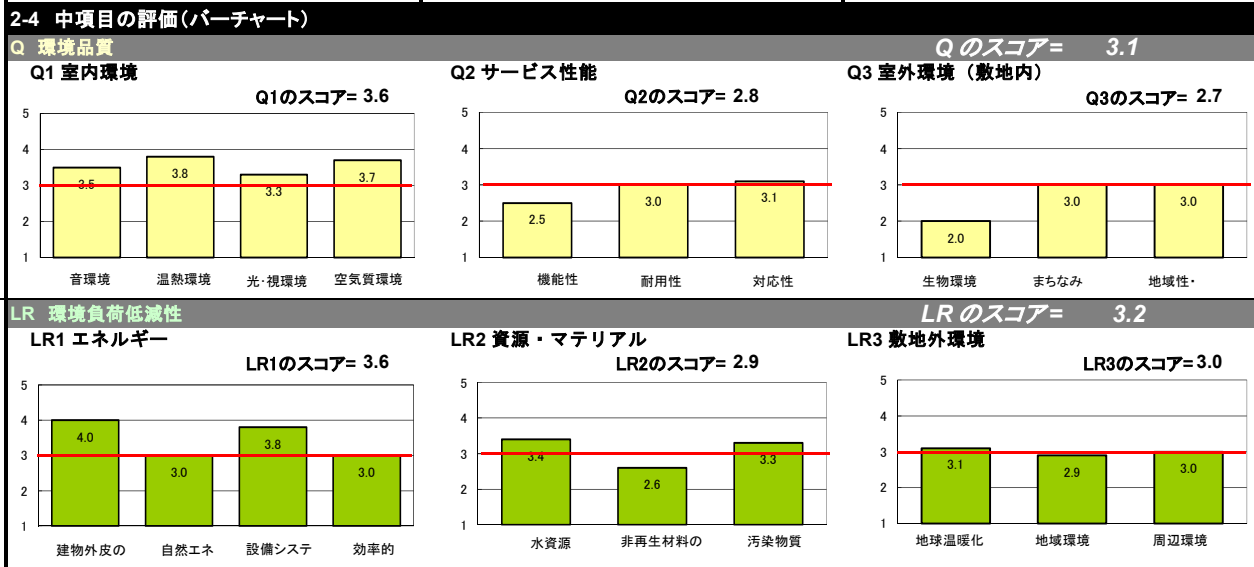
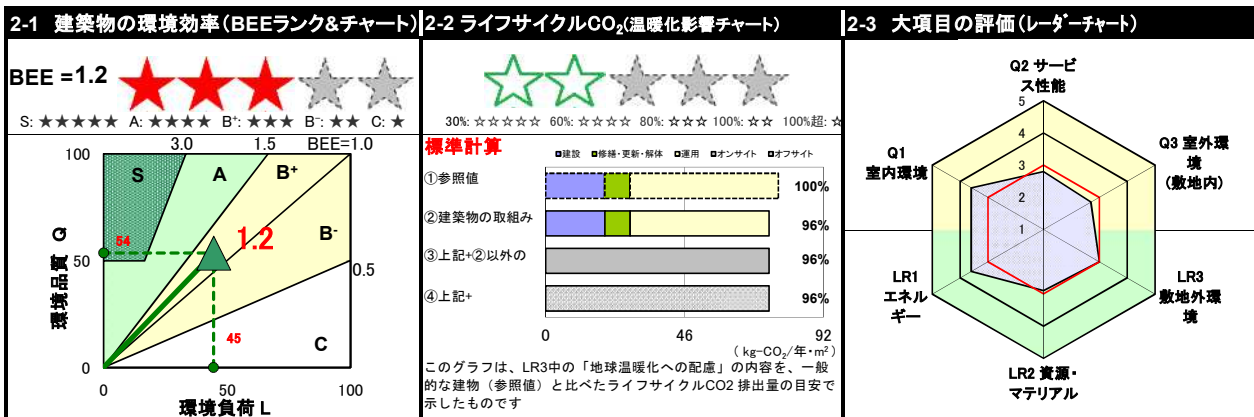


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)小田原市南鴨宮二丁目計画 新築工事	階数	地上5F
建設地	神奈川県小田原市南鴨宮二丁目 50番2、3、4、5	構造	RC造
用途地域	準工業地域、防火地域 指定なし	平均居住人員	568 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年2月 予定	評価の実施日	2022年12月29日
敷地面積	3,913 m ²	作成者	(株)日本エーコン 一級建築士 事務所
建築面積	1,512 m ²	確認日	2023年01月11日
延床面積	6,259 m ²	確認者	日神不動産株式会社



3 設計上の配慮事項		
<p>総合 鴨宮駅から歩いて約5分の準工業地域に共同住宅を計画した。</p>		<p>その他 特になし</p>
<p>Q1 室内環境 開口部遮音性能:T-2以上。 界床遮音性能(軽量衝撃源) Lr-45 界床遮音性能(重量衝撃源) Lr-50</p>	<p>Q2 サービス性能 耐震クラスA 0.1 ≤ [壁長さ比率] < 0.3</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) 特になし</p>
<p>LR1 エネルギー 日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4相当である。 BEIm=0.92, LED照明設備を導入。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル 節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。 LGSを採用している。 ODP=0, GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。</p>	<p>LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO₂排出率96%</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される